

平成20年度

教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価報告書  
(20年度事業対象)

岩舟町教育委員会

# 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の方針

岩舟町教育委員会

## 1. 趣旨

岩舟町教育委員会は、「教育委員会の主な具体的事務事業」の執行状況について点検及び評価を行い、当該年度における課題等を明らかにし見直しを図ることにより、今後の教育行政の効果的な進展に資する。

点検及び評価の結果は、報告書として取りまとめ岩舟町議会に報告するとともに、町民に公表することにより、開かれた教育行政を推進する。

## 2. 方法

- (1)点検評価は、「岩舟町教育振興計画」に基づく「教育委員会の主な具体的事務事業」を評価項目とする。
- (2)教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を委嘱する。
- (3)点検及び評価は、当該年度の執行状況を内部評価した上で、学識経験者の意見を聴取する。
- (4)教育委員会は、点検及び評価を行った後、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表する。

## 3. 点検評価項目

<教育委員会の主な具体的事務事業>

- (1) 教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
- (2) 開かれた教育委員会の推進
- (3) 教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
- (4) 学校の体制の研究と管理・指導
- (5) 教職員の適正な人事と研修の充実
- (6) 児童生徒の就学及び学校の組織編制の整備
- (7) 学校及び公共の施設等の整備と活用
- (8) 人権教育の推進
- (9) 家庭教育支援に係る諸事業の展開
- (10) 社会教育の振興に係る公民館活動等の積極的展開
- (11) 他機関・民間団体、地域住民等との連携・協力を図った教育・文化・スポーツに係る諸事業の推進

#### 4. 点検・評価のスケジュール

4月～12月 施策の進捗状況等のとりまとめと内部評価

1月中 教育評価委員からの意見聴取

2月中 点検及び評価の報告書作成

3月中 岩舟町議会へ報告  
ホームページで公表

#### 教育評価委員

前 田 英 雄	岩 崎 操	井 上 俊 男
---------	-------	---------

#### 外部評価経過

回	日 程	時 間	内 容
1	1月13日(火)	午前10時～	・ 委嘱書交付 ・ 評価シート事前配布 ・ 評価の方法等について協議
2	1月19日(月)	午後1時30分～	・ 各課室ヒアリング (学校教育課、人権推進室、社会教育課)
3	1月29日(木)	午前10時～	・ 外部評価のまとめ
4	3月 2日(月)	午前10時～	・ 岩舟町議会へ報告

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目1	教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の会議内容の充実に努める。 (2) 教育委員研修の充実に努める。 (3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集に努める。
主な事業名	定例会、臨時会、各種研修会の参加、学校訪問、各種行事・大会への参加

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の会議内容の充実 教育委員会会議は、定例会、臨時会を開催した。今まで議事録を当日に朗読していたが、事前配布するなどして、審議時間の確保を図った。また、教育委員会定例会を学校で開催し、給食の試食、授業参観、施設調査などを合わせて実施した。</p> <p>(2) 教育委員研修の充実 関東甲、県、郡の委員研修に積極的に参加し研修を深めた。また、大岩藤3町の教育委員合同研修会では、今日的課題をテーマとし研究協議した。</p> <p>(3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集 教育委員の情報収集及び相互の情報交換を通して、定例会における審議の充実が図られてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会議の工夫改善により能率的に運営できるようになり審議時間の確保が図られた。</li> <li>・学校訪問により学校の様子が良く把握ができた。</li> <li>・委員研修での情報交換や課題研修を通して多くの情報が得られ知見を広められた。</li> <li>・委員会での審議内容が活発化されてきた。</li> <li>・事務局からの更なる情報提供が必要である。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問は年に一度でなく、できる限り定例会に合わせて各校を回り学校の実態把握に努められたい。</li> <li>・定例会の会議資料は、事前配布されており評価したい。今後も継続し事前配布されたい。</li> <li>・4月の広報誌に町の教育方針が載っていたが、町民に教育行政の姿勢を知らせる良い機会だと思う。</li> <li>・会議では、議案審議の他、町教育課題についてあらゆる観点から意見交換されることを望む。</li> </ul>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目2	開かれた教育委員会の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の積極的公開に努める (2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進に努める。
主な事業名	町公式ホームページ上での情報提供 教育委員会要覧の作成配布

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の積極的公開 毎月、定例教育委員会の開催日程をホームページへ掲載してきた。</p> <p>(2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進 ホームページ上で教育委員会のお知らせコーナーを設け積極的に情報の発信に努めてきた。発信内容は、教育委員会の概要(教育委員会制度、教育委員名簿、教育委員会の仕事) 教育委員会定例会のお知らせ 岩舟町のこれからの教育について(教育長) 岩舟町教育振興計画 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の方針等である。 年度当初に教育委員会要覧を作成配布し教育委員会の事務事業等の情報提供に努めてきた。</p>	<p>・議事録の公開については、今後の課題として検討中である。今後どう段階的に議事録を公開していくか課題となっている。</p> <p>・開かれた教育委員会を目指すため更なる分かり易い情報提供に努めていきたい。</p>

外部評価
<p>・積極的に情報公開に努められていることは評価すべきではあるが、プライバシー保護に十分配慮し公開されるよう望む。</p> <p>・ホームページを閲覧できる環境が、すべての世帯に整っていないので、広報誌等を有効に活用しながら情報提供を行う方策も検討されたい。</p>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目3	教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
具体的目標	(1) 所掌事務の明確化を図る。 (2) 適正な事務の執行に努める。
主な事業名	岩舟町教育振興計画の策定、主な施策の実施と課題への対応の実施工程表の作成

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 所掌事務の明確化 事務局の所掌事務については、岩舟町教育委員会事務局組織規程に基づき執行をしている。年度当初に事務分担表を作成し、職務分担については担当長制度により適正かつ能率的な執行に努めている。</p> <p>(2) 適正な事務の執行に努める。 今年度は、岩舟町教育振興計画及び平成20年度教育委員会スタートに当たって(教育長訓示)を踏まえて、具体的実践内容を「主な施策の実施」、「課題と対応について」、「課題事項及び主な施策の工程表」を作成し計画的に推進してきた。特に実施工程表については、適宜見直しを行いながら事務事業を推進してきた。</p>	<p>・担当長制度より各担当間の相互協力支援関係が構築され能率的な職務遂行に努めることができた。</p> <p>・「課題事項及び主な施策の工程表」により各職員は自他の職務の進捗状況が把握できてより効率的な取り組みが図られた。</p>

外部評価
<p>・事務事業の取り組みについては、岩舟町教育振興計画に基づき施策・課題を明確にし、実施工程表により適切な管理が行われている。今後とも事業効果等内部評価を考慮した事業の推進に努められたい。</p> <p>・担当長制度は住民にとって分かりづらい。効果の検証が望まれる。</p>

平成20年度 事務事業の点検評価シート

評価項目 4	学校の制度・体制の研究と管理・指導
具体的目標	(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援に努める。 (2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援する。 (3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育を推進する。
主な事業名	町教育振興計画の作成・啓発、町教育行政・人権行政・学校教育推進計画の作成と実施 町内幼保小中連携会議の実施と幼保小中交流事業の展開 小中学校ジョイントプログラム事業の推進 学校・地域ボランティアとの連携推進と育成・支援 教育環境整備に係る事業の推進

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援 町教育振興計画、教育行政・人権行政・学校教育推進計画等を作成し、学校経営の充実に向け校長会や学校訪問等により周知を図った。また、学校評価の具体的な実施方法について検討し、評価結果を活用しての実態把握に努めることにより、より充実した教育の実現に向け適切な支援を行った。</p> <p>(2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援 ジョイントプログラム推進事業を中心に、小中・小小学校交流事業、小中教員交流事業、幼児児童生徒の進学に係る情報交換会等の計画と実施に向けた指導・支援により、町内幼保小中学校教育の連携強化を図った。</p> <p>(3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育の推進 地域ボランティア、学校安全ボランティア、町芸術の里づくり事業(ようこそ先輩課外授業等)、家庭教育学級、学校支援員、青少年育成町民会議等の効果的な活用に向け、各事業の推進・支援に努めた。また、学校評議員制度や学校関係者評価が有効に機能するよう、実施方法の検討と支援を行った。 教育環境整備に係る事業についても、予算の範囲内で効果的な推進を図ってきた。</p>	<p>・各学校の経営方針の中に町の教育方針が生かされたことで、課題が共有化され円滑な学校経営がなされた。 ・学校評価については、今年度からということで、目標達成状況の適切な把握とより効果的な活用、改善に向けた組織的取組に努めなければならない。 ・ジョイントプログラム推進事業を中心とした小中・小小交流における体験活動の充実により、児童生徒のコミュニケーション力の向上や小中間の段差の緩和を推進することができた。 ・小中教員交流事業や情報交換会では、教師の教育観や指導法の段差の緩和による指導力の向上や配慮児童生徒への支援の在り方の共有化を図ることができた。 ・家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組むことにより、地域の実態にあった特色ある充実した学校づくりを行うことができた。また、教育環境整備に係る事業の推進では、予算の範囲内で計画的に推進してきたが、今後も学校の要望に対して可能な限り対応していきたい。</p>

外部評価
<p>・平成18年から3カ年間、県教委指定「ジョイントプログラム推進事業」が展開され小中交流や小小交流事業など充実した研究実践がなされてきた。成果が大いに上がってきたことは高く評価したい。今後とも各学校間の交流は、子どもたちにも教員にも非常に有効なので、継続した取り組みを図りたい。</p> <p>・特別支援学校等に入学した児童生徒について、教育委員会は他部局と連携しながら卒業後の対応について対策をとってもらいたい。</p>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 5	教職員の適正な人事と研修の充実
具体的目標	(1) 教職員の適正な人事とその活用に努める。 (2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援に努める。
主な事業名	教職員に係る適正な情報の収集と適切な指導・評価の実施。 教職員の適正な人事配置の研究・実施 教職員としての個々の資質能力向上への指導と支援に係る事業の展開 組織としての学校力向上への指導と支援の機会と場の設定・実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教職員の適正な人事とその活用</p> <p>教職員に係る人事評価制度の履行及び校長会、学校訪問等により、適正な情報収集と指導を進めた。</p> <p>また、学校力アップに努めた人事異動の結果の検証と課題の確認に努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員個々に係る情報は勿論、学校組織の状況も的確にとらえられた。</li> <li>・これからも、町教育のビジョン実現に向け、バランスのとれた学校運営組織の構築に努めていくことが大切である。</li> </ul>
<p>(2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援</p> <p>学校訪問での学校課題への取組方法やその成果と課題の把握と指導、授業参観による教職員個々への指導・助言、教育研究委員会での各学校の課題への取組方法やその成果と課題の情報交換等を行うことにより、教職員個々の指導力の向上及び学校組織の活性化に努めた。</p> <p>また、外国語活動研究委員会の設置と計画的な研修会の実施など、新教育課程への円滑な移行に必要な準備体制づくり、全国学力・学習状況調査の結果分析と課題改善に向けた指導体制確立への支援により教職員の指導力の向上を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問により、意図的・計画的に各学校の実態把握と学校課題への取組方法やその成果の確認、課題改善に向けた指導を行うことができた。そして、授業参観による教職員個々への指導・助言により、教職員の指導力向上及び組織としての活性化を行うことができた。</li> <li>・小学校外国語活動研究委員会の運営や委員による教職員への研修の実施により英語授業への具体的指導方法のイメージづくりを行うなど、教職員の指導力向上や新課程への準備体制づくりを支援してきたが、新課程への円滑な移行に向け継続しなければならない。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の人事交流等を取り入れながら、適切な人材配置と環境整備に努められたい。</li> </ul>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 6	児童生徒の就学及び学校の組織編成の整備
具体的目標	(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進に努める。 (2) 学校が組織的に機能するように適正な学級組織等の編成に努める。
主な事業名	就学(幼保小中)児童生徒の確実な情報把握 適切な町教育計画の策定と実施(各学校の特色あるカリキュラム、特別支援教育計画、問題を持つ子への対応) 学校評価の適正な実施と活用

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進</p> <p>町健康福祉課と連携し、3歳児検診や5歳児検診及び就学時健康診断などを通して入学前の子どもたちの状況の把握に努めている。そして、個々の特性にあった学習の場が提供できるよう、就学指導委員会を設置して事業ごとに検討を重ねている。</p> <p>また、スクールカウンセラーや教育相談員を配置し、不登校児童に対する相談や教職員の抱えている問題に対するアドバイスなど、きめ細やかな対応をしている。</p> <p>(2) 学校が組織的に機能するような適正な学級組織等の編成</p> <p>学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報交換、諸調査の実施により、各学校の児童生徒の実態把握と指導・支援に努めてきた。また、県費による教職員の加配等による配置は勿論、必要に応じて町費による非常勤講師や学校支援員を配置するなどして、より充実した教育の実現を目指した学級編成を進めている。</p>	<p>・子どもたち個々の特性に合った環境、機会が提供でき、また相談体制も整備されているので、学校と保護者間の信頼関係が深まった。</p> <p>・課題としては、特別支援教育に対する理解が得られず、保護者との間に溝ができてしまうケースがあるが、卒業後の生活にも関係する事なので、より良い方向を模索する必要がある。</p> <p>・学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報を適切に把握することで、問題発生に対して適切に対応・指導することができた。</p> <p>・加配教員を配置することで、個に応じたより充実した指導を実現するための体制づくりを、支援することができた。</p>

外部評価
<p>・就学指導については、教員が信頼され、家族の理解を得ることが重要なので、関係部署としっかり連携して対応されたい。</p> <p>・教員に対する理不尽な要求などへの対応については、教員が児童生徒の教育活動に集中できるよう、町として組織的に教員をフォローする体制を整える必要がある。</p>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 7	学校及び公共の施設等の整備と活用
具体的目標	(1) 小・中学校の耐震化を計画的に促進する。 (2) 学校環境整備計画を策定し、各学校の改修等を計画的に行う。
主な事業名	岩舟小学校校舎耐震補強工事業 小学校施設整備・修繕事業 小野寺南小学校地盤補正事業 小・中学校図書室空調設備導入事業 中学校施設整備・修繕事業

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 小・中学校耐震化の計画的促進</p> <p>岩舟小学校の校舎は、国の耐震基準を満たしておらず、補強が必要であるため、平成20年度においては、耐震補強工事の工法や期間を検討し、実施設計書を作成した。現在、次年度の施工に向け国庫補助金の申請手続き準備や入札方法等について検討している。</p> <p>なお、岩舟中学校の体育館も補強が必要であるが、現在の計画では、平成22年度に補強工事を行う予定である。</p>	<p>・いずれも計画どおり事務処理が行われており、平成21年度には補強工事が完了し、子どもたちの安全が確保される予定である。</p> <p>課題としては、工事期間中の校舎の使用制限や安全確保について、関係機関と調整を図らなければならない。</p>
<p>(2) 学校環境整備計画の策定、改修等の計画的推進</p> <p>各学校施設は、いずれも竣工後20年以上を経過し、いたるところに不具合が生じている。大規模な改修等については、財政的に早急な対応ができないが、小規模な改修、修繕等については、当初予算編成時に各校からの要望を取りまとめ、予算が確保できた段階で年間の整備計画を立て、緊急を要するものから優先順位をつけて改修等を行っている。</p>	<p>・長期にわたる工事等については、夏季休業中に施工するなど、できるだけ学校活動に影響の無いよう配慮しているので、特に支障無く不具合箇所の改修を行うことができた。</p> <p>課題としては、老朽化により、各校とも大規模な改修が必要であるが、財源が確保できず、改修計画が立てられないことである。</p>

外部評価
<p>・岩舟町は耐震化が進んでいるようだが、子どもたちに安全、安心な環境を確保すべく今後も引き続き努力されたい。</p> <p>・財政的に厳しいのは理解しているが、基金等の充実に努めるなど、今後も計画的な整備に努めてほしい。</p>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 8	人権教育の推進
具体的目標	(1) 集会所事業の推進に努める。 (2) 男女共同参画事業の推進に努める。 (3) 学社連携事業の推進に努める。
主な事業名	・集会所運営委員会の開催、下津原・西根南集会所講座の開催 ・男女共同参画講座の開催 ・人権教育担当者会議の開催、人権ポスター・標語コンクールの実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 集会所事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所は基本的人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育啓発の推進、福祉の増進、地域交流活動の推進を図るため設置している。</li> <li>・集会所の企画及び運営に関し、教育委員会の諮問に応じて審議する機関として集会所運営委員会を設置し事業実施前に開催している。</li> <li>・下津原集会所で5講座(料理教室、絵画教室、カラオケ教室、押し花教室、健康づくり教室)、西根南集会所で3講座(カラオケ教室、ふれあい教室、健康づくり教室)を開催した。</li> <li>・両集会所での合同研修会を開催した。</li> </ul> <p>(2) 男女共同参画事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画講座「おとなの学びサロン」を2日間開催した。</li> </ul> <p>(3) 学社連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の先生による人権教育担当者会議を開催した。</li> <li>・人権ポスター・標語を各学校で取り組み表彰した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所事業の内容の充実がされた。</li> <li>・講座参加者が、ふれあい学びあいながら人権意識の高揚が図られた。</li> <li>・二つの地域の交流が図られた。</li> <li>・若年や男性が参加してくれる講座の開催が今後の課題である。</li> <li>・真の男女共同参画社会への方法等について学んだ。</li> <li>・男女共同参画への認識を高めるために、広く町民への啓発が必要であると思われる。</li> <li>・実施内容の充実がされた。</li> <li>・各校の児童・生徒の人権感覚の醸成が図られた。</li> <li>・経費や学習時間で学校や児童・生徒へあまり負担がかからない方法での実施が今後の課題である。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各集会所にあった運営委員会を1つにまとめたため、効率化が図られた。</li> <li>・集会所は、貸館事業としても周辺地域住民に積極的に利用され、福祉の増進・交流の場となっている。</li> <li>・人権講演会等の事業や集会所講座等を開催し、町民の人権意識の高揚が図られているが、今後も人権擁護委員との連携を緊密にし、交流活動等を含め、引き続き積極的に取り組まれない。</li> <li>・事業の参加については、特に若年層や男性への参加喚起が今後の課題である。</li> <li>・児童・生徒の人権意識をさらに高めるため、今後においても人権教育担当者との連携を図り、事業推進に取り組まれない。</li> </ul>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 9	家庭教育支援に係る諸事業の展開
具体的目標	(1)家庭教育事業の充実に努める (2)家庭教育支援の充実に努める (3)県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣に努める
主な事業名	・小学校家庭教育学級(4校) ・中学校家庭教育学級 ・地域における家庭教育基盤形成事業(委託事業)

取り組み状況	成果と課題
<p>(1)家庭教育事業の充実 各小学校、中学校の家庭教育学級の実施。学校・PTA・支援チームで準備会を持ちプログラムの検討等を行い実施した。 地域における家庭教育基盤形成事業(子育て・親育ち講座)支援チームが中心となり実施した。</p> <p>(2)家庭教育支援の充実 県主催による親学習プログラム修了者の方々に支援チームを組織し、学校と連携を図り支援する。</p> <p>(3)県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣 県主催の家庭教育オピニオンリーダー養成講座・親学習プログラム修了者等の積極的参加に努める。</p>	<p>・親として子どもへのかかわり方、今後子どもの育て方について理解が深まった。</p> <p>・支援チームを組織し学校と連携を図り支援ができた。</p> <p>・家庭教育指導者研修の派遣に努めた。 ・県主催で指導者養成講座があるが学校、団体等に呼び掛けたが受講者がなかなかいない。</p>

外部評価
<p>・県主催の指導者研修に参加する方が少ないということだが、関心のある方を発掘して参加するようお願いしたい。</p> <p>・小中で家庭教育学級を実施しているのは非常に良い。又支援チームの組織を強化し推進してほしい。</p> <p>・中学校の家庭教育学級充実に向けた努力を今後も続けてほしい。</p> <p>・家庭教育基盤形成事業の充実に向けて他部局と連携して、さらに継続的に取り組んでもらいたい。(就学前の子育て支援、幼児学習、親育ち講座)</p> <p>・人材育成の計画づくりと実施に向けていっそうの努力をお願いしたい。</p>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 10	社会教育での振興に係る公民館活動等の積極的展開
具体的目標	(1) 公民館事業の充実に努める (2) 文化会館での芸術文化の提供及び参加創造型事業の充実に努める。
主な事業名	公民館事業 ・ 幼児学級(1講座) ・ 高齢者教室(3箇所 3講座) ・ パソコン講座(エクセルワード・デジカメ・年賀状作成) ・ 火曜パソコン塾(第2・4火曜日) ・ 図書室おはなし会(幼児、低学年対象 第2・4土曜日) 地域デビュー講座 ・ 各小学校家庭教育学級 ・ 中学校家庭教育学級 ・ 大人のためのピアノ教室 ・ 中国語講座 地域における家庭教育基盤形成事業(委託事業) 文化会館 ・ クラシック・歌謡・声楽・映画の提供、マラソンプiano・地域住民参加の演奏会の実施。

取り組み状況	成果と課題
(1) 公民館事業の充実 生涯学習の中心施設及び地域文化の発信拠点としての機能をいっそう高めるよう事業の推進に努めた。 住民が施設の利用をしやすいよう改修に努めた。	・ 少ない予算の中で公民館事業を実施し、満足できるような事業に努めた。 ・ 住民が施設の利用しやすいように努めた。 ・ 施設の老朽化のため改修工事(今年度はトイレ改修)に努めた。 ・ 施設老朽化に伴い計画的又緊急を要する箇所の改修を進めなければならない。
(2) 文化会館での芸術文化の提供、参加創造型事業の充実 クラシック音楽ホールとしての特徴を生かしながら、地域の芸術文化の拠点として、広く文化関連事業を展開した。	・ 自主事業を通して、住民の文化意識の向上が図られた。

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団塊の世代のための事業をなお一層推進してほしい。(男性のための講座、個人(指導者)の特技を引出す事も重要) その後において他の事業につなげてほしい。(ステップアップ)</li> <li>・ 文化会館の事業(自主事業、貸館業務)を、なお一層推進してほしい。(事業の内容を精査し集客に努めてほしい)</li> <li>・ 地域住民参加型の演奏会を実施していることは素晴らしいことである。今後も推進してほしい。</li> <li>・ 今後とも施設の改修を計画的に実施していただきたい。</li> </ul>

平成20年度事務事業の点検評価シート

評価項目 11	他機関・民間団体・地域住民等との連携・協力を図った事業の推進
具体的目標	(1)生涯学習推進事業の充実に努める。 (2)生涯スポーツ事業の充実に努める。
主な事業名	・ボランティアメッセ(見本市)の開催、ようこそ先輩課外授業・芸術祭・アートインレジデンスの実施 ・体育祭・健康マラソン大会・駅伝競走大会等を開催 ・総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会を設置

取り組み状況	成果と課題
<p>(1)生涯学習推進事業の充実</p> <p>ボランティアメッセ(見本市)を開催し、学校と地域のボランティアとの相互理解を図りながら、情報交換し、学習機能を充実させ生涯学習活動の推進を図った。</p> <p>芸術の里づくり事業を住民との協働により実施し、ようこそ先輩課外授業(町出身の著名人を小中学校に招き、芸術の素晴らしさを伝える授業)を行った。また、芸術祭(岩舟町の文化についての講演、住民参加によるベートーヴェン第九合唱や町出身者等のコンサートなど)を行った。アートインレジデンス(住民と芸術家が触れ合う機会)を提供すると共に、住民が主体的に創作活動を行える環境を整えた。</p> <p>(2)生涯スポーツ事業の充実</p> <p>町民のスポーツ人口の拡大と生涯スポーツ振興を図ると共に、体育協会主催で、体育祭・健康マラソン大会・駅伝競走大会(予定)等を開催した。</p> <p>町民一スポーツの実現のため、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、設立検討委員会を立ち上げた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアメッセを通して、学校の授業・行事等の充実に生かされた。</li> <li>・ようこそ先輩課外授業では、生徒児童に芸術への感動と喜びを与えた。</li> <li>・芸術祭では、多くの町民に、岩舟町の歴史と文化について深く理解していただいた。また、岩舟町の生んだ芸術家や第九合唱等、町内にも芸術に触れている人がたくさんいることを知っていただき、また、芸術の感動を与えた。</li> <li>・レジデンスでは、陶芸と型染に真剣に取り組む意識が高まった。</li> <li>・スポーツを趣味にしている人や、年に数回しかスポーツに触れない人に、スポーツの楽しさを提供できた。</li> <li>・スポーツクラブについては、プレ事業の実施やアンケートを実施し、町民のニーズを今後のクラブ運営の基礎としたい。</li> </ul>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の里づくり事業などの展開が住民、子供たちに良い影響を与えている。(ボランティアメッセ、ようこそ先輩、芸術祭)</li> <li>・スポーツ関係に関しても体育協会と連携をとりながら、今後も継続的に推進してもらいたい。(総合型地域スポーツクラブの推進)</li> <li>・生涯学習事業に関して発展的に公民館事業の中にも取り入れ、今後も積極的に推進してほしい。</li> </ul>